

(第137期) 2019年11月期

中間報告書

2018年12月1日から2019年5月31日まで

NACHI



株式会社 不二越

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年中間期(2018年12月1日から2019年5月31日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経営環境

当中間期の当社グループをとり巻く環境は、米中通商問題の影響が拡大し、中国を中心に世界経済は減速感が高まりました。また、国内景気は緩やかな回復基調が続いたものの、産業機械分野を中心に市況が停滞し、経営環境は総じて不透明な状況になりつつあります。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、ロボット事業を核に、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、海外の現地ユーザーをはじめとした新規開拓や、新商品の市場投入などによる受注・売上拡大にとり組んでまいりました。また、中長期的な業容の拡大と、足下の収益構造の改善に向けて、開発・営業・生産体制を強化してまいりました。

以上の結果、当中間期の連結売上高は、1,271億円(前年同期比2.0%増)、このうち、国内売上高は692億円(同8.9%増)、海外売上高は579億円(同5.2%減)となりました。利益面につきましては、販売価格の引き上げやコストダウンにとり組みましたが、為替相場が円高で推移したことに加え、原材料やエネルギー価格の上昇、人件費等が収益を圧迫し、営業利益は74億円(同7.8%減)、経常利益は66億円(同6.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億円(同6.3%減)となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、その実施を見送らせていただきたいと思います。

今後の取り組み

中長期的には、自動車分野におけるEV化の動きや、世界的な労働人口の減少とAI・IoTの進展によるものづくりのFA化が進み、当社をとり巻く経営環境や産業構造は、大きく変化することが予想されます。

そのようななかで、当社グループは、「世界のものづくりを先進のFAシステムとメカトロニクスで革新する」を中期的なスローガンとして、営業・サービス、製造・調達、研究開発の各面で体質の改善・強化を進め、産業構造の変化がもたらす新たな需要を着実に取り込んでまいります。また、事業の根幹を担う人材の強化・育成にとり組んでまいります。

一方、足もとでは、米中通商問題をはじめ先行き不透明な状況が継続するなかで、当社グループは、生産の平準化や、調達価格の引下げ、生産ラインの合理化・自動化による少人化など、抜本的なコスト改革にとり組み、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年8月



代表取締役会長



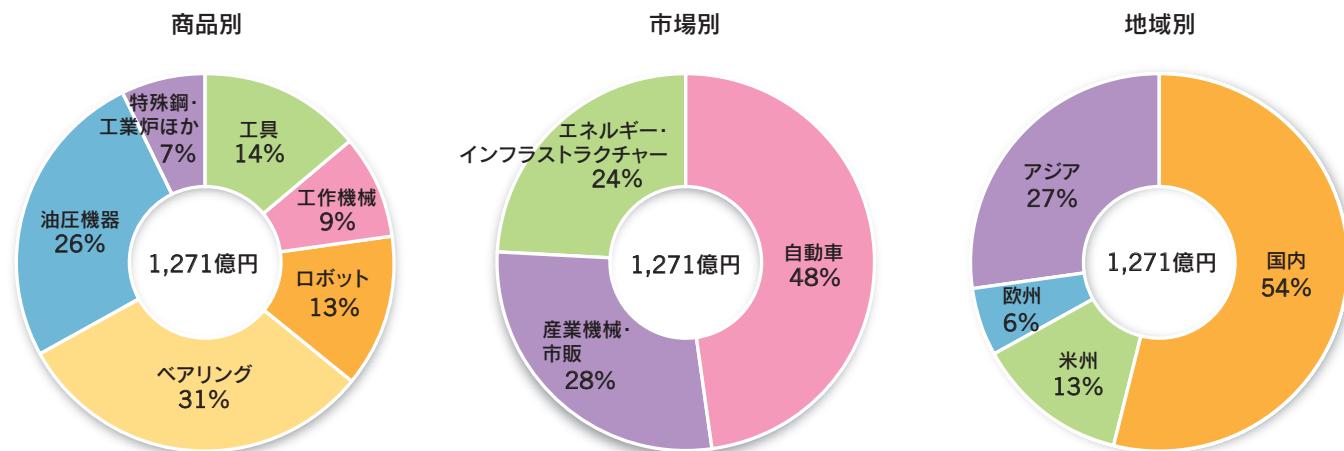
代表取締役社長

本間 博夫

坂本 淳

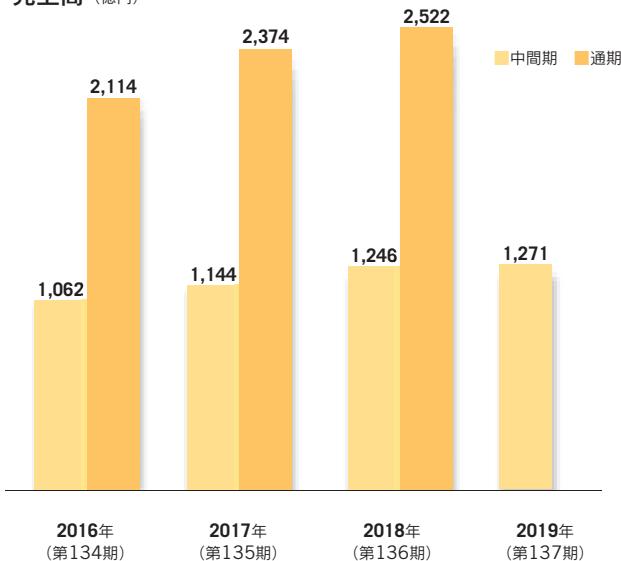
業績の概要(2019年中間期)

売上高の構成

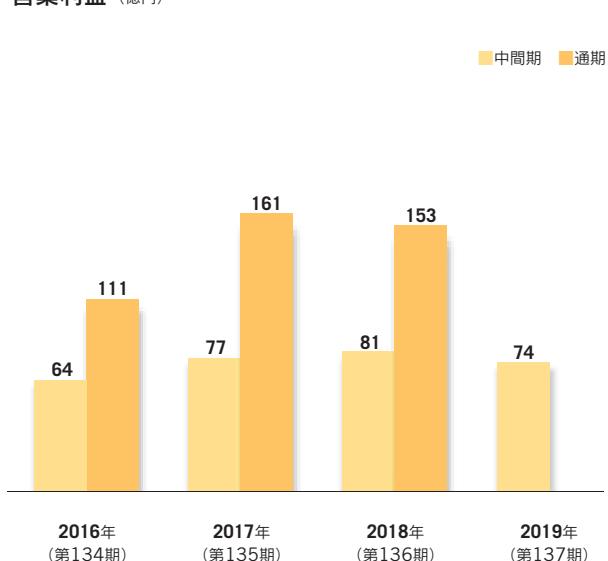


業績の推移

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



1.商材の拡充

EV化や、生産ラインのFA化の進展に対し、高性能・高品質な商材を提供してまいります。

○ロボットのラインナップ拡充

これまで小型ロボットでラインナップを拡充してきた「MZシリーズ」に、25kg可搬の中型ロボットをまもなく市場投入します。

自動車部品・一般産業機械分野などの自動化・少人化ニーズに応じていきます。

○超硬ドリルのシリーズ拡充

超硬素材から自社開発・内製化した超硬ドリル「アクアREVOドリル」に「アクアREVOドリルオイルホール」を新たにラインナップ。

新発想のオイルホールなどによる長寿命で、自動車・自動車部品メーカーなど、より高効率な加工を求めるお客様の生産性向上とコストダウンに貢献します。 「アクアREVOドリルオイルホール」



1kg可搬 4kg可搬 7kg可搬 12kg可搬

小型ロボット「MZシリーズ」



小型スカイピング
複合加工機

○EV・エコカー向け商材の拡充

小型スカイピング複合加工機「GMS200」は、コンパクトな設置スペースで、高能率・高精度な複合加工を実現。多品種少量生産や、生産ラインのコンパクト化ニーズに応えます。

また、EVやエコカーの軽量化や、コンパクト化のニーズに応える軸受など商品のラインナップ拡充を進めています。



電動ユニット用薄肉深溝玉軸受

○日刊工業新聞社の機械工業デザイン賞を受賞

協働ロボット「CZ10」が、日刊工業新聞社の「機械工業デザイン賞 日本ロボット工業会賞」を受賞しました。

国際安全規格の認証を受けた安全設計、高い操作性、高精度な位置制御機能などが評価されました。

今後も、これまでロボットに馴染みのなかったお客様を含め、幅広い分野の自動化ニーズに貢献してまいります。



協働ロボット
「CZ10」

2.生産体制の強化

最新のロボット・FAシステムを導入したスマート工場を新設。
IoTを活用し、徹底した生産性向上、合理化、コストダウンを進めていきます。

○国内工場の新設・能力増強

富山にロボット第3工場と、カーハイドロリクス第4工場を新設。年内の竣工を予定しています。
また、需要が好調な建設機械用の油圧機器を中心に、生産能力の増強を進めております。



ロボット第3工場(新設)



カーハイドロリクス第4工場(新設)



油圧モータ工場(能力増強)

3.研究開発体制の拡充

世界市場で通用する画期的な新商品の開発に向け、体制を強化しています。

○ロボットR&Dセンターを移設・拡充

東京のロボットR&Dセンターを浜離宮に移設・拡充。
ソフトウェアやシステム、アプリケーションの研究を加速し、
画期的なロボットの開発にとり組んでまいります。

○IoT事業本部を新設

社内の工場・生産ラインへのIoT・AI活用による
生産性向上を目的に、IoT事業本部を新設。
将来的には、社内で蓄積したノウハウ・成功事例をベースに、
独自のシステムを開発、お客様へ提供する新しいビジネスを
展開していきます。



ロボットR&Dセンター(東京)



○アメリカのロボットテクニカルセンターを移設・拡充

アメリカ ミシガン州にロボットテクニカルセンターを
移設・拡充しました。

産業機械や、電機・電子分野のお客様に向けて、
小型ロボットや工作機械など、様々なアプリケーションを
組み合わせて提案し、生産ラインのFA化や
コンパクト化に貢献してまいります。



財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	前期(ご参考) (2018年11月30日現在)	当中間期 (2019年5月31日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	142,249	141,063
現金及び預金	22,363	22,061
受取手形及び売掛金	58,378	57,332
たな卸資産	56,337	57,015
そ の 他	5,170	4,653
固 定 資 産	153,300	151,375
有 形 固 定 資 産	113,634	114,055
建物及び構築物	30,582	29,635
機械装置及び運搬具	66,239	67,271
そ の 他	16,812	17,147
無 形 固 定 資 産	2,749	2,955
投資その他の資産	36,916	34,365
資 産 合 計	295,550	292,439

(単位 百万円)

科 目	前期(ご参考) (2018年11月30日現在)	当中間期 (2019年5月31日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	104,195	106,330
支払手形及び買掛金	49,923	48,974
短期借入金	34,403	39,617
そ の 他	19,867	17,738
固 定 負 債	70,278	66,957
長期借入金	49,178	47,647
退職給付に係る負債	10,543	10,394
そ の 他	10,557	8,916
負 債 合 計	174,473	173,287
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	109,571	111,293
資 本 金	16,074	16,074
資 本 剰 余 金	11,221	11,221
利 益 剰 余 金	82,537	84,264
自 己 株 式	△ 262	△ 266
その他の包括利益累計額	4,968	1,446
非 支 配 株 主 持 分	6,536	6,410
純 資 産 合 計	121,076	119,151
負 債 及 び 純 資 産 合 計	295,550	292,439

中間連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	前中間期(ご参考) (2017年12月1日から 2018年5月31日まで)	当中間期 (2018年12月1日から 2019年5月31日まで)
売 上 高	124,638	127,165
営 業 利 益	8,115	7,481
経 常 利 益	7,072	6,604
特 別 利 益	11	3
特 別 損 失	577	533
税金等調整前四半期純利益	6,506	6,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,494	4,212

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	前中間期(ご参考) (2017年12月1日から 2018年5月31日まで)	当中間期 (2018年12月1日から 2019年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,821	9,506
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,129	△ 11,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,461	1,361
現金及び現金同等物の増減額	889	△ 805
現金及び現金同等物の期首残高	22,537	21,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,426	20,972

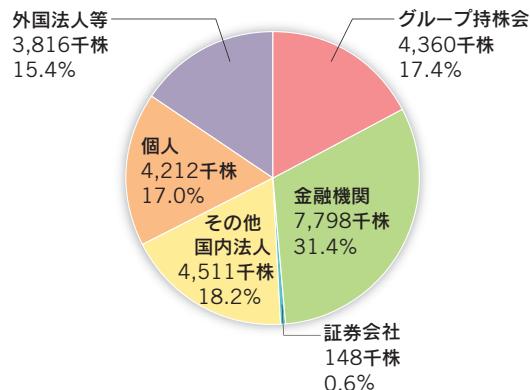
株式の状況 (2019年5月31日現在)

発行済株式の総数 24,919,343株
株主数 19,674名
大株主(上位5名)

(注) 持株比率は自己株式(71千株)を控除して計算しています。

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
那智わねい持株会	2,182	8.78
ナチ不二越従業員持株会	1,394	5.61
トヨタ自動車株式会社	1,318	5.31
株式会社三菱UFJ銀行	1,188	4.78
株式会社北陸銀行	865	3.48

所有者別株式分布



取締役および監査役 (2019年8月現在)

代表取締役会長	本間博夫	取締役	井上徹	常勤監査役	山田寛
代表取締役社長	坂本淳	取締役	古澤哲	常勤監査役	堀将志
取締役副社長	林秀憲	取締役	浦田信一	常勤監査役	山崎昌一*
常務取締役	藤樫茂	取締役	塚本裕	監査役	飯村北*
常務取締役	小林昌行	取締役	佐々木法嗣		
常務取締役	原英明	取締役	三浦昇		
		取締役	赤川正寿		
		取締役	児玉純一*		

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

会社の概要 (2019年5月31日現在)

設立	1928年12月21日	資本金	160億円	従業員数	3,243名(グループ人員7,514名)
主要な事業内容	機械工具事業 切削工具、塑性加工工具、切断工具、工作機械、機械加工システム、ロボット、ロボットシステム 部品事業 ベアリング、油圧機器、カーハイドロリクス その他の事業 特殊鋼、コーティング、工業炉				
主な国内事業所	本社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 Tel. 03-5568-5111 富山事業所 富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 [工具 工作機械 ベアリング ロボット] Tel. 076-423-5111 東日本支社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 中日本支社 名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル 〒465-0095 西日本支社 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル5F 〒530-0005 東富山事業所 富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼] / 富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器] 滑川事業所 富山県滑川市大掛176 〒936-0802 [油圧機器 カーハイドロリクス コーティング 工業炉]				
主な海外事業所	NACHI AMERICA INC. (アメリカ) NACHI EUROPE GmbH (ドイツ) 不二越(中国)有限公司 那智不二越(江蘇)精密機械有限公司(中国) NACHI TECHNOLOGY (THAILAND) CO., LTD. (タイ) NACHI SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)				

株主メモ

証券コード	6474
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会開催時期	2月
基準日	定時株主総会・期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 郵便物送付先 お問い合わせ窓口	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

■配当金の「口座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめします。

口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

株式数比例配分方式 お取引の証券会社の証券口座で、お受け取りいただく方式(証券会社に口座がない株主様は、ご利用いただけません)

登録配当金受領口座方式 ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座で一括して、お受け取りいただく方式(ゆうちょ銀行の口座は、ご指定いただけません)

個別銘柄指定方式 ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定し、お受け取りいただく方式

■株式に関するお手続きについて

1.配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買増・買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申し出先について

株主様のお取引のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2.未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙の写真

協働ロボット「CZ10」です。

国際安全規格「ISO10218-1」の認証を受けた安全設計、高い操作性、高精度な位置制御等の機能により、幅広いお客様の自動化ニーズに貢献します。